

# 森のおくりもの9月



ミヤマガマズミ (スイカズラ科)



写真：黒川周子（レンジャー）

今年の夏は、晴れの日が多く、記録的な暑い日が続きました。しかしながら、後半は寒いくらいの雨の日が長く続き、森の様相が一気に秋になるのではないかと心配になるほどでした。ともあれ、9月に入り、自然観察の森は徐々に秋へと進み始めております。これから秋が深まるまでの間、たくさんの動植物がいろいろな表情を見せつつ変わりゆく森の秋をお楽しみください。

【館長 菊池正行】

# +幼虫の赤いお顔がかわいい+ ササキリ



二千円札裏面に源氏物語「鈴虫巻」の絵が描かれていますが、それくらい昔から虫の音を愛でるステキな文化が日本にはあります。

今回は鳴く虫のひとつ、**ササキリ**を紹介します。

すっかり涼しくなってしまった夕刻、虫の音に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。コオロギ、ジジキ、ビビ、いろんな音が聞こえますよ。

## ■触角

体の長さよりも、めちゃくちゃ長い  
です。映しきれません。お手入れす  
るのも一苦労。

## ■脚

曲がるところが黒い

■頭から翅  
の先まで一  
直線に黒い

## 成虫

【体長：約15mm】



## 鳴き声

オスしかありません。  
翅をすり合わせてジキジキジキ・と  
続けて音を出します。

## ■かお

特徴はなんといっても、こ  
のオレンジなかわいいお顔  
でしょう。成虫になると緑  
色になってしまいます。

## 幼虫

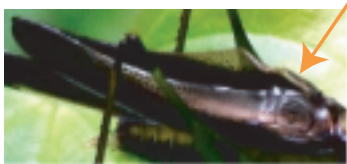
## ■耳

前脚の後ろ側にある白  
い楕円形のところから  
音を聞いている。

## 居どころ

林のふちの草の上や、  
茎に頭を下にした状  
態で鳴いているのを  
よく見ます。

## どうやって 音をだしているの？



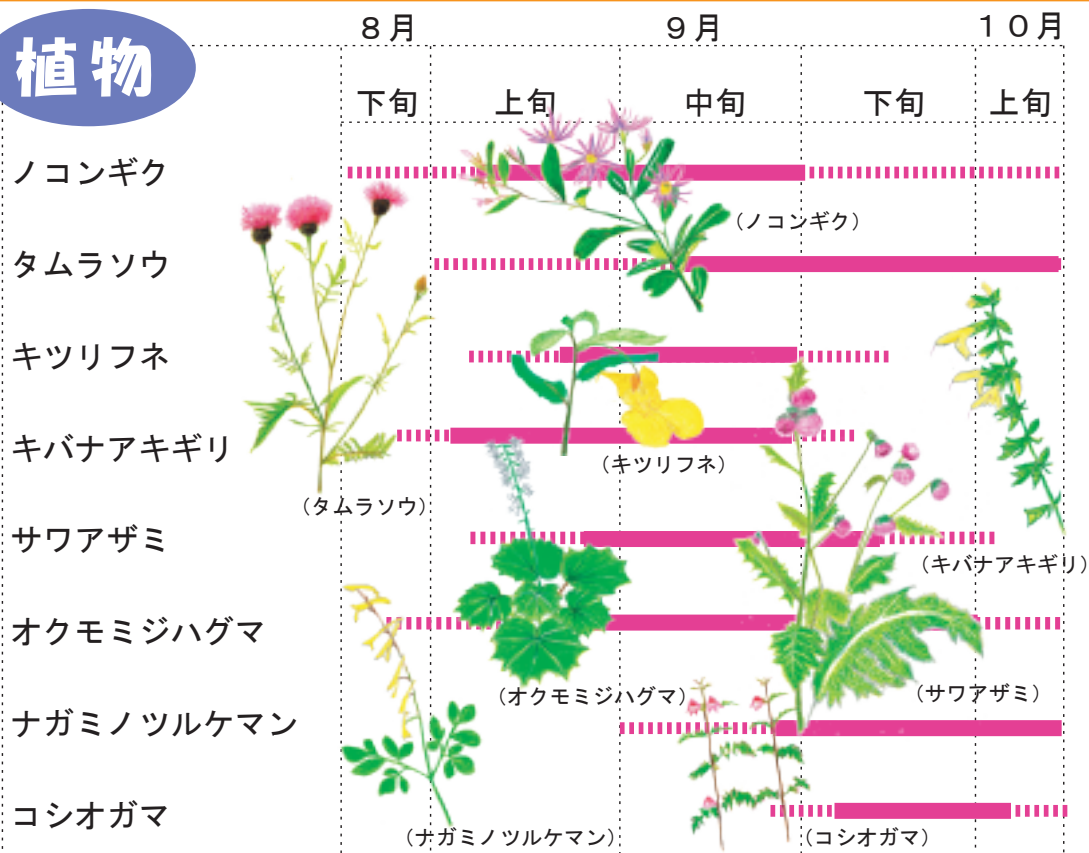
キリギリスの仲間は左翅の裏側にやすりの  
ような突起があり、それで翅の硬い脈を  
こすり合わせて音をだします。(コオロギは  
右翅裏にやすりがあります。) こすり方は、  
翅をコオロギのように大きく立てたりせず、  
少しだけ持ち上げてこすり合わせます。だ  
から音も控えめなのかもしれませんね。

【レンジャー：黒川周子】

\*センターの中に「キリギリスのはね」を顕微鏡で大きくみることができる展示があります。  
左翅裏の「やすり」を是非みてね。

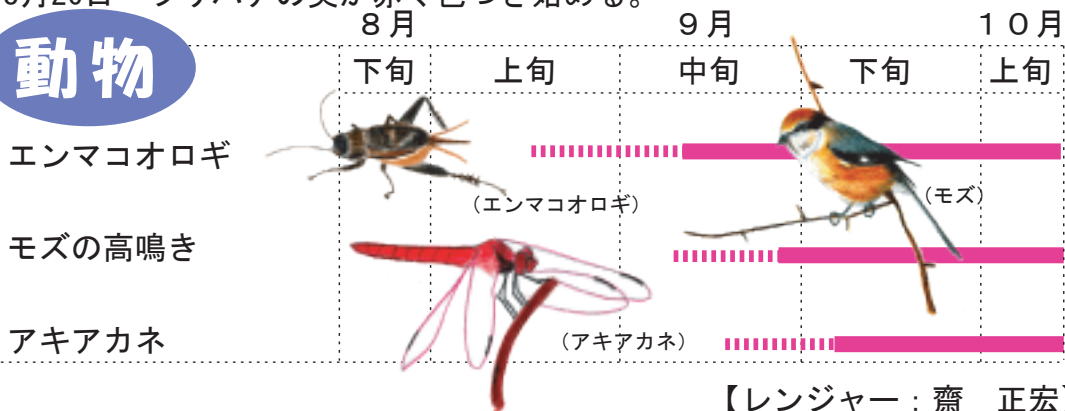
# 9月の生物ごよみ

## 植物



- 8月 7日 気温35度と仙台で今年4回目の猛暑日に！今年の夏は暑いぞ。
- 8月 8日 巡回中みはらしの道のコナラにカブトムシが群がる。
- 8月 9日 いこいの道でシラヤマギクが咲く。
- 8月12日 であいの道でホツツジが咲き始める。季節は確実に進んでる。
- 8月19日 やすらぎの道でチッチゼミが鳴き始める。
- 8月26日 ツリバナの実が赤く色づき始める。

## 動物



【レンジャー：齋 正宏】

森で見つけた！

今月のはっけんメモ

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

## はっけんメモ その16 『赤い色の木の実、草の実』

森は実りの秋にむかって季節をすすめています。そこで今回は、森の中でひととき目立つ赤い色の実を紹介します。どれも赤色だけど、まったく印象の違う色と形！自然の中には豊かな色彩があふれていることに気づかされます。



ガマズミの仲間。  
光沢と透明感のある  
鮮やかな赤色です。  
ガマズミは食べられ  
ます。酸っぱい味！



ツチアケビの実も真っ  
赤！蘭の仲間な  
ので花は地味な  
がらもかわいい形。



春に緑色の不思議な形の花を咲かせてい  
たマムシグサ。地面から伸びた一本の茎の先  
につぶつぶの実が沢山ついています。つやつ  
やカラフルな実だけれど、全草に毒が含まれ  
ています。絶対口に入れないで！



サンショウも熟すと果皮が赤くなります。  
中の種は黒色です。サンショウはミカン科の植物  
なので、実をよく見ると、ミカンのように皮に点々  
(油胞：ゆほう)がついています。

ウナギを食べるときの香辛料、つくだ煮、煮物  
など、日本食には欠かせない食材の一つ。生の実  
をかじると、さわやかな辛味と共に、ピリピリと  
した刺激が舌に残ります。



赤い実はこの他にもたくさんありました。あまくておいしいヤマボウシに、丸い実がはじけて中からオレンジ色の種がのぞくツリバナなど…もう少し秋が深まるとイチイにツルリンドウ、ウメモドキなども赤く色づきます。

【レンジャー：河合 遥】



## 新人レンジャーの観察日記

いつの間にか蝉しぐれが秋の虫たちの声に代わり秋を実感する季節になりました。今年はあるに暑くて、早く涼しくなってくれないかなと思っていましたが、いざ秋の気配を感じると勝手なもので真夏の陽光が恋しく感じます。そして、太白山自然観察の森でも赤トンボの姿を見かけることが多くなりました。赤トンボは日本では古くから稲作で蚊や蛾を捕食する益虫として親しまれ、子ども達にも人気の昆虫です。園内に来た小さな子どももセンター前で赤トンボを偶然見つけて大きな歓声をあげております。赤トンボに限らず、空を自由自在に飛び回るトンボは見ていると何故か和みます。そんな自由奔放さが子どもたちにとって人気の理由のひとつなのかもしれません。

実際に捕獲網を使って赤トンボをとろうとすると、彼らは網の存在を瞬間的に察知し巧みな飛行能力でそれを回避します。網を振るとどうしても上下の動きまで連動せず、トンボは素早い上昇や下降で網をかわします。または網が追いつかないほどの瞬発的な加速をして逃げいきます。大人になってトンボ採りをして初めて彼らの飛翔能力の高さに驚かされました。また、トンボはハチドリのようにホバリング（空中停止飛行）も行える生物です。



【日光浴するアキアカネ】  
\* 赤トンボはアカネ属の総称です

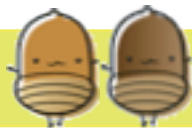
トンボの4枚の翅は前後別々に独立した動きをし、急旋回や滑空などあらゆる複雑な動きに対応します。トンボのホバリングをもし見る機会があれば、その様子を少し観察すると面白いかもしれません。翅を小刻みに震えるように動しながらも、頭や長い腹部は見事なまでにとても安定しています。弱い風ならビクともしないトンボの安定制御は生物ならではの不思議さを持っています。

近年、国内でも環境の変化と思われるトンボの個体数の大幅な減少が見受けられるようです。数多くのトンボがいつまでも大空を駆け巡って欲しいと願っています。

【レンジャー：阿部 正明】



# のイベント & お知らせ



## ◆『秋の虫むしめっけ♪』

9月12日(土) 10:00~11:30

・未就学児と保護者の方を対象にした自然観察プログラムです。  
昆虫の見つけ方、捕まえ方から体験します。

【定員】15名(未就学児とその家族)

【持ち物】帽子、長袖・長ズボン、飲み物、虫よけ、雨天時は雨具(カッパ)  
※捕虫具は不要です。

【申込み】9月8日(火)午前9時から電話で受付〔先着〕

## ◆草木染め体験～緑の葉っぱ編～

9月26日(土) 10:00~14:00

・森の中で染料となる植物を採取し、草木染めを体験します。

【定員】10名

【持ち物】動きやすくても汚れても良い服装(エプロンなど)、  
軍手、ビニール手袋、昼食、飲み物

【参加費】500円

【申込み】9月9日(水)午前9時から電話で受付〔先着〕



毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

9月の開催日は  
6日、13日、20日、27日です。  
開催時間:午前 10:00~11:30  
午後 13:30~15:00

◎20日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。  
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

イベント申込用



9月の休館日

7日、14日、  
24日、28日

### ♪森へおいでください♪



#### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!  
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2015年9月号(毎月1回5日発行)  
発行:(公財)仙台市公園緑地協会  
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133  
E-mail: taihakan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>